

ベータラム

β -RAM[®] 5 型

ラジオ液クロ検出器システム

(含む Fast LC 機構)

超高感度測定と多機能機構



英国

 **LabLogic**

ラジオ液クロ検出器システムの世界的専門メーカーです。

β -RAM[®] 5 型

ラジオ液クロ検出器システム



英国

LabLogic

ラジオ液クロ検出器システムの世界的専門メーカーです。

世界最高性能を誇る第5世代の ラジオ液クロ検出器システムです。

英国LabLogic社は、25年以上もの経験を、この最新の^{ベータラム} β -RAM5型の開発に投入しました。これは、世界を牽引するシステム、 β -RAMラジオ液クロ検出器の第5世代のシステムです。

世界中の研究所で広く使用されている β -RAMラジオ液クロ検出器システムは、最も高い感度と信頼性により、非常に高い評価を受けています。

最新の進化により、 β -RAM 5型は
ラジオ液クロ検出器を次世代のレベルへ導きました。

- 標準 HPLC
- UPLC[®]、高速分解能 LC、Fast LC
- アクティブカウンティングモード (ACM[™])
- ストップフローまたはリアルタイムによる低レベル測定
- β およびソフト γ 測定

新型 β -RAM 5型は、あらゆる解析におけるユーザーのご要望に応じた設定を可能にします。業界基準のLaura[™]ラジオ液クロデータシステムと組み合わせることにより、よりご満足いただける研究をサポートします。

感度
分解能
データ整合性

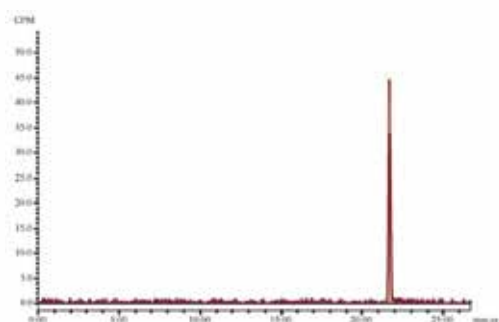


β -RAM[®] 5型 ラジオ液クロ検出器システム

分解能 UPLC、高速分解能LC、Fast LC

最新の β -RAM 5型は新しいLC技法に対応しているため、あらゆる挑戦に対応出来ます。

低デッドボリュームフィッティング、チューピングおよび低フローレート用に最適化されたミキシング部品が、最適なピークの形状と識別設定を確実にします。



LabLogic社は、世界を牽引するHPLC会社各社と、正式な共同開発契約を結んでいます。

最小5 μ Lボリュームレンジからの特別に設計されたフローセルにより、最も必要とされる条件下で優れた性能を得られます。

従来の β -RAMの測定範囲は、すでに最も低いバックグラウンドを示していますが、5型はそれを一層改善しています。

最新の5型は、サブ秒の更新時間を特徴とし、明確なピークによる最高精度を確実にします。

新しいセル設計—これまでで最小のフローセル



Agilent Technologies



SHIMADZU

英国

LabLogic

ラジオ液クロ検出器システムの世界的専門メーカーです。

感度 アクティブカウンティングモード(ACM™)



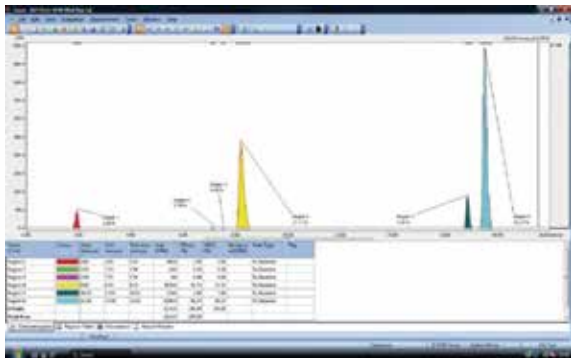
標準型ラジオ液クロシステム

サンプルのピークがシャープになり、ピークの分解能が高まる技法です。ノイズピークとの弁別がより明確になり、シグナル／ノイズ比を大幅に向上させることができます。

ピークの立ち上がりを識別し、瞬間的に通常よりシンチレーターを多く流すことで、RIをフローセル内に瞬時に流し込みます。

これによりピークの立ち上がりが良くなり、シャープなピーク形状となります。

ブロードのピークがよりシャープに高くなるので、ノイズピークとの見極めが明確にできるようになります。



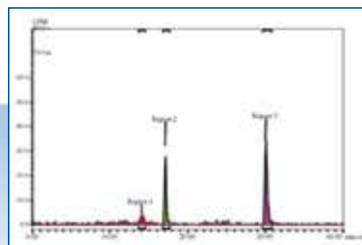
β-RAM 5型のアクティブカウンティングモード使用例
感度が16倍増加し、ピークの形状と
識別設定が著しく改善しています。



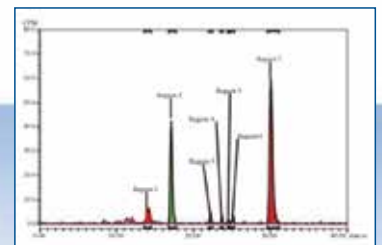
ストップフロー

ストップフローは、時間と費用のかかる低レベルサンプルの液体シンチレーション測定に置き換わるものです。検出フローセル内での測定時間を最適化し、ストップフローオプションとLauraソフトウェアの組み合わせにより、放射性物質の測定において研究者の皆さまが要望される測定レベルと閾値を実現します。

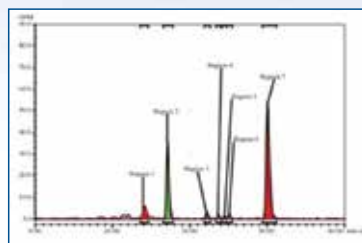
ストップフローにより、簡単に測定列(キュー)でのサンプルのバッチを開始することができ、サンプルは自動的に測定され、クロマトグラムが作成されます。



標準型ラジオ液クロシステム



SoFieストップフロー



トップカウント

SoFieストップフロー on-line測定の結果と、トップカウントまたはそれに類するoff-line測定システムの比較例です。

β-RAM® 5 型

ラジオ液クロ検出器システム

データの整合性 "Laura"^{ローラ} ラジオ液クロデータシステム

システムの操作、デジタルデータ収集、解析、レポート

業界基準の "Laura"^{ローラ} ラジオ液クロデータシステムですべてのことが可能です。

Lauraは20年以上もの間、ラジオ液クロの業界標準のソフトウェアとして、世界中から認められた製品です。
Lauraの最新の進化の特徴として、世界有数のHPLCシステムや、放射線検出システムのほとんどを制御し、
全体のラジオ液クロ解析に対してただ1ヶ所でコントロールすることができます。



その他の Laura の特徴

スタンドアロンから
企業レベルの拡張性のソリューション

GLP および
21CFR part 11 準拠オプション

データ比較のための、
独自の集計テーブル機構

文書管理システム

自動ピーク識別

強力なレポート機能と解析ツール

最新の OS、Windows8 に対応



英国

LabLogic

ラジオ液クロ検出器システムの世界的専門メーカーです。

イノベーション

人間工学に基づく最新の設計です。
最小の設置面積です。
独自の液受けトレイとリーク検出技法



Bluetooth™

β -RAM 5型は、Bluetooth ワイヤレスリンクを介して小型携帯端末へ接続し、データ収集の操作をスタンドアロンで行うことができる世界初のラジオ液クロ検出器システムです。



USB

β -RAM 5型は、制御およびデータ収集のため、旧式のシリアル出力ではなくUSB接続で行います。



フローセルの自動認識



HPLC に合うカラーコード
縦置きまたは横置きが可能

英国

LabLogic

ラジオ液クロ検出器システムの世界的専門メーカーです。

ラジオ液クロ検出器システム Fast LC[®]

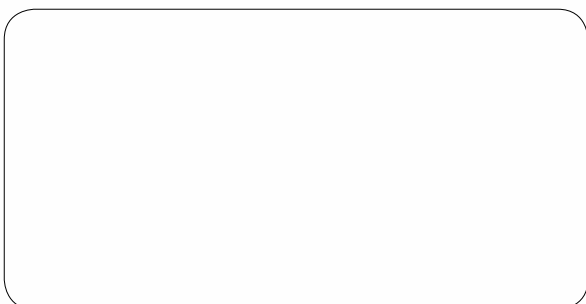
β -RAM[®] Micro-

固体セルによる測定のための β -RAM5A型と、
液体シンチレーターセルによる測定のための
 β -RAM5B型があります。



- テーリング及びピーク幅の広がりをシャープに立ち上がらせるために、特殊ZDV（ゼロデッドボリューム）フィッティングと、小口径チューブを採用しました。
- 200 μ L/分~2,000 μ L/分までのシンチレーション流量を正確に、そして再現性よくコントロールしました。
- Fast LC“ラジオ液クロ検出器システム”として、特別に開発した小容量セル（5, 10, 25, 50, 100 μ L）を採用しました。
- 光電子増倍管のクロストーク（干渉）を最小限に出来るように、測定室の口径をこれまでになく狭めました。
- 分解能を大幅に向上させるために100msec/データポイントに短縮しました。

(注) Fast LC機構は β -RAM5型では標準仕様です。



輸入総販売元

桑和貿易株式会社

E-mail : office@sowa-trading.co.jp

URL : <http://www.sowa-trading.co.jp>

桑和貿易

検索



□ 東京

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1丁目7番1号（瀬木ビル）

TEL 03 (3862) 2700(代) FAX 03 (3862) 6300

□ 大阪

〒532-0011 大阪府淀川区西中島5丁目3番4号（新大阪高光ビル）

TEL 06 (6390) 2151(代) FAX 06 (6390) 5620

1404/1000CC